



菊陽町図書館

ライブ・レター

2023年9・10月号 WEB版

日中はまだまだ暑いですが、朝夕の風や、虫の音に秋の気配を感じます。
 秋といえば、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋…
 いろんな秋が楽しめます。でもやっぱり、秋の夜長は、「読書の秋」！！
 素敵な本との出会いがありますように！



2023年 第77回 「読書週間」標語

「わたしのペースで しおりが進む」



おいしい読書



『中学生のためのスイーツの教科書』

おかやま山陽高校製菓科 // 編



高校製菓科がまとめたジュニア世代のためのお菓子づくりの入門書です。
 クレープ、マドレーヌなど 15種類のスイーツづくりを通して基本をマスターできます。

『お菓子でたどるフランス史』

池上俊一 // 著



世界の人びとを甘く魅了してきた、フランスのお菓子。それは、教会や修道院で生まれ、やがて王や貴婦人たち、文豪やパティシエたちによって戦略的に磨かれてきました。

『台所のメアリー・ポピンズ』

P. L. トラヴァース // 作 メアリー・シェパード // 絵
小宮由 // 訳 アンダーソン夏代 // 訳



東風によって、桜町通り 17 番地のバンクス家にやってきた不思議な乳母、メアリー・ポピンズ。
 バンクス家の子どもたちとのゆかいなお話と、イギリスの伝統料理やデザート 57 品のレシピを紹介。

『給食アンサンブル』2

如月 かずさ // 作 五十嵐 大介 // 絵



部活を辞めたことを引きずる慎吾、長い片思いを続ける千秋…。それぞれに迷いや悩みを抱えた中学 2 年生 6 人の胸にひそむほんとうの気持ちを、給食が教えてくれる。
 あたたかな音色を奏でるアンサンブルストーリー。

中学生・高校生職場体験おすすめ本



『か「」く「」し「」ご「」と「』』 住野 よる // 著

高校生の男女 5 人の恋や友情がかかれた物語です。5 人それぞれの視点がかかれており、ある 1 人は他の人物の頭の上に記号が見え、その記号の変化が感情の変化になったり、ある 1 人は人の鼓動が見えたりと登場人物の感情がおもしろくかかれています。
 小さな秘密が大きな誤解になり、空回りする 5 人をぜひ見てみてください。



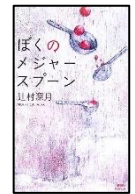
『珍問難問宇宙 100 の謎』 福井康雄 // 監修

宇宙の果てには何があるか、説明できますか？



『通りすがりのレイティ』 新井 素子 // 著

19 歳の女の子あゆみちゃんは地球のいろいろなことが嫌になり、宇宙へ家出します。そこで出会ったすてきな人たちと初めての経験をしていきます。
 あゆみちゃんやレイティの会話がとてもおもしろく、笑えて楽しい気分になります。『通りすがりのレイティ』は「星へ行く船シリーズ」の第 2 巻です。
 ぜひ第 1 巻の『星へ行く船』から読んでみてください！



『ぼくのメジャースプーン』 辻村深月 // 著

他の人にはない不思議な力をもつ主人公のぼく。そんなぼくはある事件をきっかけにしゃべれなくなったしまったおさななじみのふみちゃんを助けたいと強く思っていた。「自分の力のことをよく知っておいたほうがいい」とお母さんから言われ、先生を紹介される。
 力のことについてよく理解したぼくが事件の犯人との面会でとった行動とは…?!



『チア☆ダン ROCKETS』3

みうら かれん // 文 榊 アヤミ // 絵 映画「チア☆ダン」製作委員会 // 原作

主人公は、福井県立西高校のチアダンス部で名前は、わかばという女子高校生その女子高校生は練習をしていたときにケガをしてしまい大会に出るのをあきらめていたが仲間の応援のおかげもありやっぱり全国大会に出ようと決心する。お話です。



『容疑者 X の献身』 東野圭吾 // 著

この作品の面白い所は犯人がだれが分かった上でストーリーが展開していくところです。少しずつ謎を解き明かしていく湯川、アリバイ偽装を着実にしていく石神、天才と呼ばれる 2 人の対立は、胸が熱くなる半面、悲しいものでもあります。そして、ラスト 50p からの怒涛の展開と伏線回収には読むのを止めることができません。本が苦手な人でも読みやすいと思うのでおすすめです！

フェア

テーマ 「アートの世界」



『アート少女』 花形みつる // 著



節子が美術部の部長になってから部員が減り、残ったメンバーは超個性的な面々ばかり。そして、美術部の部室は校長に没収されてしまいます。

『上野公園へ行こう』 浦井正明 // 著



日本ではじめての公園である上野公園の紹介。美術館や博物館、動物園などの歴史や企画展が載っています。上野公園を探検するのに役立つ一冊。

『ブルーピリオド』 山口つばさ // 著



美術にまったく興味のなかった主人公・矢口八虎があるきっかけで美術に興味を持ち、絵を描いて自分と向き合いながら成長していくストーリー。

『美術館へ行こう』 草薙奈津子 // 著



美術館のマナー、展覧会の楽しみ方、美術館の仕事内容や舞台裏まで…。現役の学芸員が写真を交え解説します。美術館に行ってみたくする一冊。



秋の行事 × 本

- ◆宇宙の日 (9月12日)
- ◆敬老の日 (9月18日)
- ◆中秋の名月 (9月29日)

※宇宙の日 (1992年9月12日、毛利 衛 がスペースシャトル・エンデバーに搭乗した。)



『夜間中学へようこそ』 山本悦子 // 作



ゆうな 優菜とおばあちゃんは同時に中学一年生になった。戦後の混乱で学校に行けなかったおばあちゃん。76歳で夜間中学に通うことに決めたのだ。

- * 『シカゴよりこわい町』 リチャード・ベック // 著 斎藤倫子 // 訳
- * 『夏の庭』 湯本香樹実 // 著

『ドリトル先生と月からの使い』



ヒュー ロフティング // 作 河合祥一郎 // 訳 patty // 絵

昆虫語の研究に熱中していたドリトル先生のところへ、ある晩、家くらいもある巨大な力があらわれました。この力が月の世界から来たのだと知って、先生は月へゆく決心をします。

- * 『星に願いを、月に祈りを』 中村航 // 著
- * 『13カ月と13週と13日と満月の夜』 アレックス・シアラー // 著 金原瑞人 // 訳

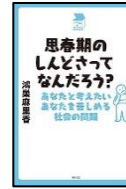
New

新着コーナー



* 『知りたい気持ちに火をつけろ!』 木下通子 // 著

レポートの参考資料を探す、データベースで情報検索をする、論文を入力する…。学校図書館は探究学習の強い味方。デジタル化が進み幅広い学びに役立つ図書館の活用法を名物司書が紹介します。



* 『思春期のしんどさってなんだろ?』 鴻巣麻里香 // 著

友だち、学校、家、自分自身……中高生の悩みは「思春期」だから? それとも自分のせい? スクールソーシャルワーカーの著者が中学の素朴な疑問から考える。



* 『ひとりあそびの教科書』 宇野常寛 // 著

街に走りに出てみよう、生き物たちに触れてみよう、ひとりで「旅」に出てみよう、「もの」をたくさん集めてみよう、ゲーム「で」しっかりあそんでみよう…。友だちと仲良くいっしょにやるのとは別の、「ひとり」で夢中になれる遊びの数々を紹介。



* 『金曜日のあたしたち』 濱野京子 // 作

高校受験に失敗してくさりまくっていた陽葵は、ある日、駅前でプラカードを持って立つ高校生たちと出会う。環境問題研究会のメンバーだった。



* 『クルックヘイブン』 J.J.アルカンジョ // 著 橋本恵 // 訳

13歳の少年ガブリエルは、祖母と二人の貧しい生活のなか、おなかを満たすためにスリをしていた。ある日、謎の男から「きみの才能を活かせる場所がある」というメッセージをもらう。



* 『大人になったら何になりたい? 日本の給料&職業図鑑』

給料BANK // 著 スタディサプリ進路 // 著

あらゆる職業の仕事内容、将来性、給料・給与、初任給、生涯賃金などおおよそ300種類の職業を徹底解説。

オススメ!